

# キャラクターデザイン Tips

## 【おすすめ書籍】

「小池一夫のキャラクター新論 ソーシャルメディアが動かすキャラクターの力」

2011年の本なので最近の方がいいかもしれませんが、私が読んだのはこの本なのでこの本をベースに話します。ビジュアルを構成する具体的な話はないのですが、キャラクター組み立ての基礎が学べます。

キリストと悪魔から初音ミクまでキャラクターとは何か？を掘り下げて書いてあり、キャラクターについて改めて考えることや発見する事がありました。

やはり「**キャラクターがあっちはじめてそれがデザインに落とし込める**」と思うので、時間をかけてやれるのでしたらキャラクターの概念を改めて考えるところからはじめてみて、どういうデザインにするか膨らますのもよいと思いました。

例えば、寝坊をするキャラクターなら「髪を整えてる時間がないので髪留めで誤魔化している」というアイディアから「髪止め」というデザインが出来上がるように、まずキャラクターあつての髪止めだと思います。

## 「荒木飛呂彦の漫画術」

ジョジョの著者である荒木飛呂彦先生が色々な漫画を分析してゆく本です。

漫画の話なので一見するとキャラクターがメインではなさそうですが、**漫画においてキャラクターは最も重要な要素なので漫画を知るという事はキャラクターを知るという事**です。

単純に読み物として面白いですし、荒木先生の視点から漫画を見れるので非常に学びがあります。

ただ、結構いろいろな漫画を知っている事を前提にしている書き方なので、普段漫画を読まない人には出てくるタイトルがわからないと伝わりづらいかもしれません。

(孤独のグルメなど簡単な説明をして分析をはじめたりするので、孤独のグルメを読んでないと伝わりづらい)

## 【キャラクターを発注する時のコツ】

・髪・目・アクセサリなど、求めるものに近い参考画像を拾ってきて提示する。

欠点としては、書き手の想像の余地や任せる点が少なくなってしまう点。

利点としては、求めるイメージに近づけられる。実際のキャラクター制作などでも、部位ごとに画像資料を添付するというのはあるそうです。

・設定やおおまかな雰囲気などを伝え、そこから想像をしてもらう。

この場合、**キャラクターの全体像や歴史が見えてくるような表現**の仕方だと想像を膨らませやすいです。

例えば、無口だったとしても何故無口なのか？によって意味が変わります。

引っ込み思案で無口などであれば、全体的におとなしめの印象であったり眼鏡などのアイテムを想像できますが、中二病で無口キャラを気取っている無口！ですと包帯眼帯、黒系の装飾を想像します。

設定を1つの単語ではなく、歴史や文脈で伝えられるとよいわけです。

欠点としては、求めるイメージと離れてしまう可能性がある点ですが、これは「どのキャラの絵も好き」と思えるようなテイストの絵描きに頼めば、必然と自分にあうものが出来上がってくると思います。

利点としては、絵描きの裁量にゆだねる部分が多いので、自分がガチガチに指定するよりいいものになる可能性がある点です。

・もしも、自分が発注するなら

もしも、自分が頼むとしたら、性別,年齢,身長,体重,髪の毛,目あたりを文字で伝えて、あとはキャラクター設定から連想してもらってラフを描いてもらう方法をとります。

どうしても具体的なイメージで作ってほしい箇所がある場合だけ、画像の参考資料を提出します。

### 【参考 URL】

荒木飛呂彦の漫画術 (集英社新書) 荒木 飛呂彦

[https://www.amazon.co.jp/dp/4087207803/ref=cm\\_sw\\_r\\_tw\\_dp\\_x\\_OV7yzbPFAW9WT](https://www.amazon.co.jp/dp/4087207803/ref=cm_sw_r_tw_dp_x_OV7yzbPFAW9WT)

小池一夫のキャラクター新論 ソーシャルメディアが動かすキャラクターの力 小池一夫

[https://www.amazon.co.jp/dp/486225702X/ref=cm\\_sw\\_r\\_tw\\_dp\\_x\\_8b8yzbDR1ECAH](https://www.amazon.co.jp/dp/486225702X/ref=cm_sw_r_tw_dp_x_8b8yzbDR1ECAH)

※最近もキャラクターにかんする著書を出されてるそうです。